



いちえん

2022.1.15

Vol. 22



### 青森へ帰省、道中で感じた新時代

年末年始は青森に帰省してきました。車で帰ったのですが、迎えてくれたのは数十年ぶりの災害級の雪。高速道路がストップして到着に1.5倍の時間がかかってしまいました。最近の車は前の車を自動追尾して走ってくれるので長距離もそれほど苦にならずに運転できました。そして、車内で妻と息子が観ているのはタブレット端末だったりするわけです。技術の進歩というのはすごいですね。車での暇つぶしはカーオーディオ一択だった一昔前とは状況が変わった事を実感しました。世の中はどんどん便利になっています。

### 新しい産業への転換の準備期間

きっと20年後くらいには自動運転は当たり前になっていることでしょう。また、ドローンが運送を、液晶テレビはHMD(ヘッドマウントディスプレイ)に変わっているかもしれません。きっとそのような世界には新しい仕事や労働が育まれているはずです。コロナ禍によって飲食店を中心に大変な状況が続いておりますが、きちんと経営されている所はうまくやり方を変えむしろ業績を向上させています。コロナ禍はいわば新しい産業・経済への準備期間と捉えることで、自己(社)改革を促進できるのではないかと思います。

### デザイナー + デジタル + X(何か)

私達も数年前から従来の紙媒体中心から、マーケティングからの企画立案・広告展開・マルチメディアでのコンテンツ作成の仕事に徐々にシフトしています。Adobeはじめツールの進化も素晴らしい、デザイナーが新しい領域で活躍できるように環境を整えてくれています。故にこれからも「知的生産」を基軸に新技術を積極的に活用したいと思っております。本年もデザイナー+デジタル+X(何か)で面白いことをやっていきたいですね。Xには農業が入るかもしれないし、ゴミ拾いが入るかもしれません。本年もよろしくお願い致します。(坂本)

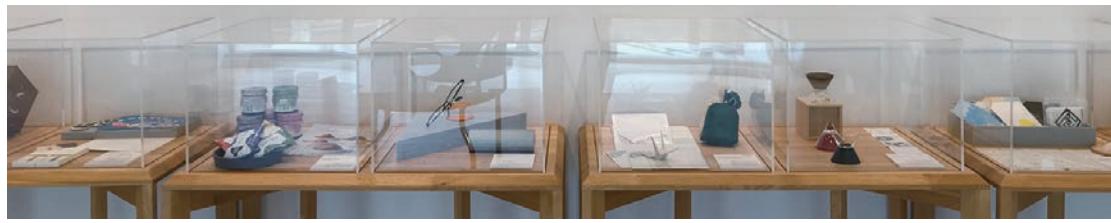


ichien

www.ichien.asia デザイン無料相談24時間受付中



# デザインセンターふくい訪問



## デザインマインドが地域産業を変える

2021年10月初旬に福井県のデザイン支援機関「デザインセンターふくい」を訪ねました。福井県は、鯖江の眼鏡製造や漆器、越前の打刃物や和紙などが伝統工芸・産業として息づいています。

主任研究員の藤田さんにお話を伺い印象的だったのは、センター立ち上げ当時の県知事が「デザイン立県」を宣言し、デザイン政策に力を入れていること、経営者のデザイン教育、デザイナー育成に力を入れていることです。福井県出身の著名なプロダクトデザイナー川崎和男氏による「デザイン塾」が25年ほど前に開催され、地元の製造業をはじめとした経営者などが参加していたそうです。デザインマインドを育んでいった事業者の中から、鯖江市の木地メーカーから生まれたHACOAをはじめ地域を代表する企業に成長したところもあるそうです。今でもそのDNAは「ふくいデザインアカデミー」に受け継がれ、オリジナルのデザイン・マーケティングの教科書を使ってデザインマネジメントやマーケティングの視点で事業者やデザイナー育成を行っています。このような場で事業者とデザイナーが出会い、関係が作られ仲間になっていくことも大切なのだそうです。

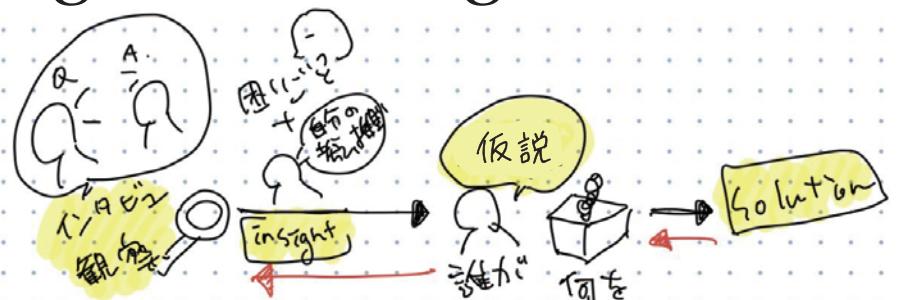
大事なことは、小さな成功を積み重ねること、企業のモチベーションを高めること。支援側はそのフォローしかできないが、そこを最大限支援すること…そう力強く話されていた言葉が心に残り、デザインコーディネーターとして私もそのことを大事にし、力を高めようと思いました。

## Design Thinking 03|

### デザイン・シンキング(デザイン思考)とは?

企業や社会をよりよく変えるため、新たな価値の提供を考えるイノベーション技法である。

## Design Thinking\_Step2Define:課題発見とは?



### 「仮説」を立てることがポイント!

デザイン思考の「Step1共感」で行った「行動観察」「インタビュー」等から見えてきたユーザーの「困りごと」「課題」を洗い出すステップです。

そこで重要なステップは、見えてきた課題の仮説を立てること。つまり、誰が、何を、何

## 技術継承とマーケティング

HACOAは1960年代に木地作りの伝統工芸士が創立した60年続くメーカーです。木地作りは箱物の分業の一部ですが、自社で完結するメーカーに方向転換をしHACOAブランドを立ち上げたのが2001年。その草分けが、木のキーボードでした。今でもバージョンアップして販売、代表商品の一つとなっています。1990年代に先の「デザイン塾」が始まり経営者の方が参加されていたそうです。

新しい社屋にはショップと工房。木の製品だけではなく、木の世界観を表現するべくパティシエも連携してギフトのチョコも開発・販売(とても素敵でした!)。インハウスデザイナーを抱え、月1点の新商品リリースをするなどファンを飽きさせない商品づくりを心がけているそうです。

もう一つ、越前和紙を作る工房を訪ねました。冷水の中で原料のコウゾをほぐし、大きな道具で和紙をすく。全国の御朱印帳などのほか、厚みやすき方で墨汁の吸いなども変わるため、書家の作品専用紙として引き合いがあるそうです。話をしてくれた若い職人の方は、和紙はマニュアルを見れば作れるものではなく、作り手が潰えると技術も継承されなくなってしまうことに危機感を覚え和紙職人になったそうです。コウゾは地域で作られなくなり、茨城から仕入れているとのことでした。

伝統として継承していく意義のある技術を残していくためにも、今の時代や人を見据えたマーケティングにより新しい在り方を築くことがますます重要だと感じます。(西條)

## ichien Staff



CEO  
Art Director/Graphic Designer  
坂本 健介

## デザイナー育成について想う

専門学校の非常勤講師をやって10年以上になるのですが、スキルの訓練方法を研究・開発しています。そのうち昨年作成した「教科書」のように、教育コンテンツとして公開したいなあと思っています。内容はツールのハウツーではなく、ツールを使いこなす方法ですね。本年もよろしくお願い致します。



CMO  
CD/Marketer/Designer  
李 員交

## 2022年を迎えて…

新年、おめでとうございます!仕事に復帰し半年が経ちました。その間、仕事と育児の両立体制の構築ができ、充実した毎日を送ることができたと思います。新年からはその体制を基盤に、家族や関わる皆様、取引先の一人ひとりの「満足度」を高めていくための「デザイン活動」を深めていけたらと思います!



Design Coordinator  
Editor/ウェブ解析士  
西條 友弥子

## 2022年は真っ白いキャンバス

今号から一円パートナーとしてここに参加します、よろしくお願ひ致します。仙台の実家に帰省した年末年始、初めて海岸で初日の出を拝みました。うっすら積もった雪で一面真っ白な砂浜と景色も美しく、まるで白いキャンバス。新しい絵を描くように、今年も実りある年にいていこうと思います。

## Design News

(※1) IDEOUのキャリアデザインで大事にしていること  
すばり、日本の生きがいです。  
「自分にとって大事なことは?」と  
いう問い合わせ、自分を理解する  
ことが重要ということ。

